

美しい銀鏡のような輝き



*GIN-PREMIUM-COAT*  
**銀鏡プレミアムコート**

メタルックを超える超光沢、メッキのような仕上り  
高硬度で傷が付きにくい

## 塗装工程

工 程	使用材料 (品名 / 品番)	配合比 (重量比)	塗装方法 塗布量	乾燥時間 (20℃)
1	木地調整	P240→P320→P400 サンドペーパー		
2	目止め着色	ピュア着色剤ベース 目止め用 Z7-91P 100 リターダー TU-39 80 ピュアステインPG ブラック ZP-1500 10	スプレー吹付 ウエス拭き取り 30~50g/m <sup>2</sup>	常温/1~2時間
3	下塗り	ピュアウッドシーラー プラチナコート下地用 UW-43-P 100 ピュアB液 UW-43-P用 CB-277 100 ピュアうすめ液 春秋用 TU-12-P 100~600	スプレー吹付 40~60g/m <sup>2</sup>	常温/16時間 (一晩放置)
4	研 磨	P400 サンドペーパー		
5	着 色	ベースブラック UZ-1520-P 100 ピュアB液 UZ-1520-P用 CB-270 100 ピュアうすめ液 春秋用 TU-12-P 80	スプレー吹付 70~80g/m <sup>2</sup>	常温/16時間 (一晩放置)
6	研 磨	P600 サンドペーパー (研ぎ出しに注意)		
7	色押さえ	ピュアウッドシーラー プラチナコート下地用 UW-43-P 100 ピュアB液 UW-43-P用 CB-277 100 ピュアうすめ液 春秋用 TU-12-P 80	スプレー吹付 40~60g/m <sup>2</sup> Wet状態になるよう塗装すること	常温/16時間 (一晩放置)
※注意事項 工程7の塗装後は塗面への接触、塗料ミストの付着など 厳禁				
8	銀コート	プラチナコート ZZ-1720 100 プラチナコート専用うすめ液 春秋用 TZ-05-P 100	スプレー吹付 20~40g/m <sup>2</sup> 塗面への接触厳禁	・常温/2時間 又は ・40℃/1時間
9	上塗り	プラチナクリヤー UC-96-P 100 ピュアB液 UC-96-P用 CB-276 25 ピュアうすめ液 春秋用 TU-12-P 50	スプレー吹付 40~60g/m <sup>2</sup>	常温/16時間以上 (一晩放置)

プラチナコート専用うすめ液は、季節に応じてTZ-04-P(冬用)、TZ-05-P(春秋用)、TZ-06-P(夏用)をご使用ください。  
ピュアうすめ液は、季節に応じてTU-11-P(冬用)、TU-12-P(春秋用)、TU-13-P(夏用)をご使用ください。  
※着色仕様の工程については弊社ホームページもしくはお電話でお問い合わせ下さい。

## 塗装工程上の注意事項

銀鏡感を損なわないようにする為、各工程にご注意いただく点がございます。

工 程	注 意 事 項
木地調整	○木地の状態が荒れていると銀鏡感が低下します。[P240→P320→P400]の条件で調整してください。 ○仕上がりに影響を与えますので、木目と同方向に研磨を行うようにしてください。
目止め着色	○目止め塗料の乾燥は高沸点溶剤を使用しているため、規定時間を守るようにしてください。 ○下塗り塗装前には残っている目止めカスを出来るだけ除去するため、P400~P600で軽く撫で、エアードスター作業を行ってください。
下塗り	○下塗り塗膜においても耐溶剤性能が出ていないと銀鏡感への影響を与えてしまいますので、規定乾燥時間を守るようにしてください。 ○木質感を出す仕上げ(オープン・セミオープン)を基本としていますので導管部を潰さないような塗装作業(塗布量設定)に調整してください。
下塗り研磨	○研磨状態も銀鏡感に影響しますのでP400~P600のペーパーで研磨作業を行ってください。 ○研磨作業時は木目と同方向に行うようにしてください。
着 色	○塗装前は研磨粉・ホコリなどを出来るだけ除去してください。 ○導管部を潰さないような塗装作業(塗布量設定)を行い、隠蔽させてください。 ○後工程の研磨作業がし易いよう、塗肌(Wet)に注意してください。 ○耐溶剤性能が出ていないと銀鏡感への影響を与えてしまいますので、規定乾燥時間を守るようにしてください。
着色研磨	○密着性を確保するため、研磨作業は必ず行ってください。 ○研磨作業はP600ペーパーで木目と同方向に行うようにしてください。 ○研ぎ出さないよう注意してください。 ※研ぎ出してしまった場合は再度塗装してください。
色押さえ	【本工程は銀の輝きを出すため最も重要な工程となりますので、下記事項を厳守してください】 ○塗装前は研磨粉・ホコリなどを出来るだけ除去してください。 ○ゴミの付着防止のため、出来る限りクリーンな環境で塗装作業、乾燥作業(指触乾燥が終了するまでの15分間は特に注意)を行って下さい。 ○銀鏡の輝きを出すため、必ずWetでの塗装・仕上げ状態にしてください。 ○塗装終了〜次工程までは塗面への接触、また、塗料ミストの付着が絶対無いよう細心の注意を払って管理してください。 ○耐溶剤性が完全に出ないと銀コート塗布時の輝きが出ませんので、規定乾燥時間を守るようにしてください。
銀コート	○塗装前にホコリ・ゴミなどをエアードスターで除去してください。その際も絶対に塗面への接触はしないよう注意してください。 ○Dry塗装にならないよう注意してください。 ○かぶり(ブラッシング)状態では輝きが出なくなるため、シンナーの選定を充分行うようにしてください。 ※極端な高湿度環境時は塗装作業を避けるようにしてください。 ○規定乾燥時間を守ってください。
上塗り	○極端な厚膜にならないよう注意して塗装してください。 ○Dry塗装にならないよう注意してください。 ○規定乾燥時間を守ってください。

## 警告と注意事項

### 警 告

(1) 引火性の液体である。(2) 溶剤中毒の恐れがある。

### 注意事項

吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ等の健康障害を起こす恐れがありますから、取り扱いには下記の注意事項を守って下さい。

(1) 取り扱い作業場所は、火気の無い所で行い、局所排気装置を設けて下さい。又、燃料には使用しないで下さい。(2) 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。(3) 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスク、又は送気マスク保護手袋前掛等を着用して下さい。(4) 容器からこぼれた場合には、布で拭き取って水をはった容器に保管して下さい。(5) 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。(6) 目に入った場合には多量の水で洗った後、又誤って飲み込んだ時にはできるだけ早く医師の診察を受けて下さい。(7) 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。(8) 火災時には炭酸ガス・泡又は粉末消火器を使用して下さい。(9) よくフタをし、40℃以下で子供の手が届かない所へ保管して下さい。(10) 中身を使い切ってから廃棄して下さい。

◎商品の仕様、品番につきましては予告なしに変更する場合がありますのでご了承願います。 ◎商品の取り扱いに当たっては、安全データシート(SDS)に従って下さい。

製品情報はこちらから



玄々化学工業株式会社

〒496-0005 愛知県津島市神守町字中ノ折74  
Tel: (0567) 28-9207 Fax: (0567) 28-9219  
E-mail: info@gen2.co.jp  
URL: https://www.gen2.co.jp/



QMS: EMS  
JIS Q 9001  
JIS Q 14001  
JSAQ1140: 2014-08-09

MS  
CMO13